

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-259819

(43)Date of publication of application : 13.09.2002

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

G06F 13/00

G06F 17/30

G07G 1/12

H04M 3/42

H04M 3/487

H04M 3/493

H04M 15/00

(21)Application number : 2001-
061110

(71)Applicant : SEKI MASAHIRO

(22)Date of filing :

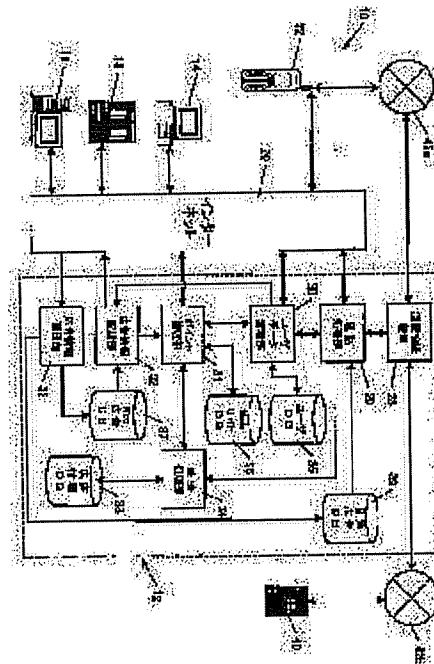
06.03.2001 (72)Inventor : SEKI MASAHIRO

(54) ADVERTISEMENT SYSTEM USING PORTABLE TELEPHONE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an advertisement system capable of inducing users to advertisement information with a high probability without impairing the convenience of users.

SOLUTION: The advertisement system is equipped with a Web advertisement database 37 in which the advertisement information capable of being distributed to a portable telephone 22 of a user via Internet 20 is accumulated in such a way as related to the provider of each piece of advertisement information, an advertisement information distribution part 32 to extract a certain piece of advertisement information from the database 37 and distribute to the portable telephone 22 in the case a distribution request of advertisement information is placed from the portable telephone 22, a point management part 31 to record certain points related to the advertisement information into the relevant item in the user database 35 in such a way as related to the user in case the portable telephone 22 emits an output to show that perusal is made over the advertisement information, and a settlement treating part 34 to record the charging information corresponding to the points in a settlement information database 38 in such a way as related to the provider of the advertisement information.



(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2002-259819
(P2002-259819A)

(43)公開日 平成14年9月13日(2002.9.13)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	サーチコード [*] (参考)	
G 0 6 F 17/60	3 2 6	G 0 6 F 17/60	3 2 6	3 E 0 4 2
	4 1 0		4 1 0 A	5 B 0 7 5
			4 1 0 C	5 K 0 1 5
	4 2 4		4 2 4	5 K 0 2 4
	5 0 6		5 0 6	5 K 0 2 5

審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 12 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号 特願2001-61110(P2001-61110)

(22)出願日 平成13年3月6日(2001.3.6)

(71)出願人 502093531

関 政弘

東京都世田谷区経堂3丁目28番地10号 経
堂オリエントコート105号

(72)発明者 関 政弘

東京都渋谷区渋谷2-15-1 渋谷クロス
タワー13F 株式会社テレフリー内

(74)代理人 100096002

弁理士 奥田 弘之 (外1名)

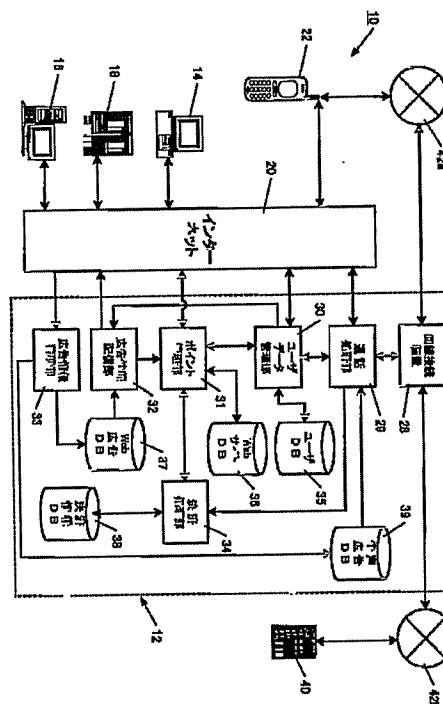
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 携帯電話を用いた広告システム

(57)【要約】

【課題】 ユーザの利便性を損なうことなく、高い確率でユーザを広告情報に誘導できる広告システムを確立する。

【解決手段】 インターネット20経由でユーザの携帯電話22に配信可能な広告情報を、各広告情報の提供者に関連付けて蓄積しておくWeb広告データベース37と、携帯電話22から広告情報の配信要求が出力された場合に、Web広告データベース37から所定の広告情報を抽出して携帯電話22に配信する広告情報配信部32と、携帯電話22から広告情報を閲覧したことを示す出力があった場合に、当該広告情報に関連付けられた一定のポイントをユーザに関連付けてユーザデータベース35内の該当項目に記録するポイント管理部31と、当該ポイントに対応した課金情報を、広告情報の提供者に関連付けて決済情報データベース38に記録する決済処理部34とを備えた広告システム10。



【特許請求の範囲】

【請求項1】インターネット経由でユーザの携帯電話に配信可能な広告情報を、各広告情報の提供者に関連付けて蓄積しておく広告情報記憶手段と、

インターネット接続機能を備えたユーザの携帯電話から広告情報の配信要求が出力された場合に、上記広告情報記憶手段から所定の広告情報を抽出してユーザの携帯電話に配信する手段と、

ユーザの携帯電話から、当該広告情報を閲覧したことを示す出力があった場合に、当該広告情報に関連付けられた一定のポイントを、当該ユーザに関連付けてポイント情報記憶手段に記録する手段と、

当該ポイントに対応した課金情報を、上記広告情報の提供者に関連付けて所定の記憶手段に記録する手段と、を備えたことを特徴とする携帯電話を用いた広告システム。

【請求項2】各広告情報には、広告の内容に対応したジャンルを示す識別情報が予め付加されており、また、各ユーザが予め選択した配信希望ジャンルを、当該ユーザに関連付けて記録しておく所定の記憶手段を備えており、

上記ユーザの携帯電話から広告情報の配信要求が出力された場合に、当該ユーザの配信希望ジャンルに合致する識別情報が付加された広告情報を上記広告情報記憶手段から抽出し、当該ユーザの携帯電話に配信することを特徴とする請求項1に記載の携帯電話を用いた広告システム。

【請求項3】各広告情報には、配信対象の属性を特定する識別情報が予め付加されており、また、各ユーザの属性情報を当該ユーザに関連付けて記録しておく所定の記憶手段を備えており、上記ユーザの携帯電話から広告情報の配信要求が出力された場合に、当該ユーザの属性に合致する識別情報が付加された広告情報を上記広告情報記憶手段から抽出し、当該ユーザの携帯電話に配信することを特徴とする請求項1に記載の携帯電話を用いた広告システム。

【請求項4】上記の各広告情報中には、携帯電話の入力手段によって選択可能なマークが少なくとも一つ挿入されており、

上記ユーザの携帯電話から、当該マークを選択したことを示す出力があった場合に、当該広告情報に関連付けられた一定のポイントを、当該ユーザに関連付けて上記ポイント情報記憶手段に記録することを特徴とする請求項1～3の何れかに記載の携帯電話を用いた広告システム。

【請求項5】ユーザの携帯電話から、特定のWebサイトにおける決済に上記ポイントを適用する旨の要求がインターネット経由で直接あるいは間接的に出力された場合に、上記ポイント情報記憶手段を参照して当該ユーザのポイント残高を確認する手段と、

当該ユーザが十分なポイントを保有している場合に、上記決済に必要なポイントを上記ポイント情報記憶手段内の記録から減算する手段と、

同ポイントを上記Webサイトに関連付けて所定の記憶手段に記録する手段と、

を備えたことを特徴とする請求項1～4の何れかに記載の携帯電話を用いた広告システム。

【請求項6】ユーザの携帯電話から、携帯電話の通話料に上記ポイントを適用する旨の要求がインターネット経由で出力された場合に、上記ポイント情報記憶手段を参照して当該ユーザのポイント残高を確認する手段と、当該ポイント残高を所定のレートに基づいて金額に換算し、当該金額をユーザの携帯電話における単位時間当たりの通話料で割って通話可能時間を算出する手段と、ユーザの携帯電話からこのシステムの電話回線に着信があった場合に、当該携帯電話から事前にインターネット経由で特定された相手先の電話番号に発呼し、相手先の電話機との間で通話路を形成した後、上記ユーザの携帯電話と相手先の電話機との間に本システムを経由した通話路を形成する手段と、

ユーザの携帯電話と相手先の電話機との間における通話時間を計測する手段と、

上記通話可能時間を経過した時点で上記通話路を切断する手段と、

を備えたことを特徴とする請求項1～5の何れかに記載の携帯電話を用いた広告システム。

【請求項7】電話回線を通じて伝達可能な音声による広告情報を、各広告情報の提供者に関連付けて蓄積しておく音声広告情報記憶手段と、

上記ユーザの携帯電話と相手先の電話機との間に通話路が形成された際に、上記音声による広告情報を当該通話路に混入させる手段と、

を備えたことを特徴とする請求項6に記載の携帯電話を用いた広告システム。

【発明の詳細な説明】

【001】

【発明の属する技術分野】この発明は広告システムに係り、特に、インターネット接続機能を備えた携帯電話に対して様々な広告情報を配信することが可能な広告システムに関する。

【002】

【従来の技術】近時、携帯電話（PHSを含む）の普及率が爆発的に高まり、その中でインターネット接続機能を備えた携帯電話の占める割合も増加してきている。携帯電話のユーザは、文字通り携帯電話を日常的に持ち歩いており、パソコンよりも簡単にインターネットに接続できるため、ちょっとした空き時間を利用してメールチェックやホームページの閲覧を行っている。このように、携帯電話を不特定多数の人間が頻繁に利用する状況に至った結果、これを広告媒体として有効利用したいと

いう要請が生じるのは当然の成り行きであり、実際に幾つかの広告手法が試みられている。

【003】例えば、携帯電話のディスプレイ上に小さなバナー広告を表示させ、ユーザがこれを選択するとリンク先のWebサイトからWebページが送信されるように仕組みられた広告手法がある。あるいは、一旦広告会社のサーバに携帯電話から電話を掛けて接続し、音声広告を一定時間聴くことを条件に、一定時間の無料通話が許されるシステムもある。

【004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来の携帯電話を介した広告システムは、何れも実験段階に止まっており、とても本格的な広告媒体として活用されているとはいえない。バナー広告の場合でいえば、ただでさえ狭い携帯電話のディスプレイにバナーを貼るための十分なスペースを確保することは困難であり、インパクトの強い広告を行うことは期待できない。また、音声広告を聴くことを条件に無料電話を掛けられるシステムの場合、ユーザが携帯電話のスピーカから耳を遠ざけていても広告終了後には無料電話を掛けることができってしまうため、広告効果に関しては疑問が残るといわざるを得ない。また、ユーザの側からしても、電話を掛けたいときに一々広告情報を聞いてからというのでは面倒であり、結局利用しなくなってしまうことが危惧される。

【005】他方で、インターネット接続機能を備えた携帯電話の普及に伴い、携帯電話専用のWebサイトを立ち上げて様々な情報やサービスを提供する事業者が数多く登場してきているが、そのほとんどが収益に繋がっていないという問題がある。すなわち、NTTドコモ（登録商標）のような通信キャリアに公認されたWebサイトであれば、通話料に上乗せする形で利用料を徴収することができるが、大多数のWebサイトは公認を得ることができず、したがって無料でサービスを提供せざるを得ないのが現状である。今後、質の高いサービスや情報をユーザに提供していくためには、未公認のWebサイトに対しても何らかの形で合理的な利用料を獲得できる途を用意すべきであるといえる。

【006】この発明は、従来の携帯電話を用いた広告システムが抱えている記問題を解決するために案出されたものであり、ユーザの利便性を損なうことなく、高い確率でユーザを広告情報に誘導できるシステムの確立を主たる目的としている。また、この広告システムに関連して、携帯電話向けにサービスを提供しているWebサイトに対し安定した収益源を提供することが可能なシステムの実現をも目的としている。

【007】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成するため、請求項1に記載の携帯電話を用いた広告システムは、インターネット経由でユーザの携帯電話に配信可能な広告情報を、各広告情報の提供者に関連付けて蓄積し

ておく広告情報記憶手段と、インターネット接続機能を備えたユーザの携帯電話から広告情報の配信要求が出力された場合に、上記広告情報記憶手段から所定の広告情報を抽出してユーザの携帯電話に配信する手段と、ユーザの携帯電話から当該広告情報を閲覧したことを示す出力があった場合に、当該広告情報に関連付けられた一定のポイントと、当該ユーザに関連付けてポイント情報記憶手段に記録する手段と、当該ポイントに対応した課金情報を、上記広告情報の提供者に関連付けて所定の記憶手段に記録する手段とを備えたことを特徴としている。この広告システムによれば、携帯電話を通じて広告情報を閲覧することで金銭的価値を備えたポイントを獲得することができるため、各ユーザが積極的に広告情報の配信を要求するようになることが期待できる。

【008】請求項2に記載の携帯電話を用いた広告システムは、各広告情報に広告の内容に対応したジャンルを示す識別情報を予め付加しておくと共に、各ユーザが選択した配信希望ジャンルを、該ユーザに関連付けて記録しておく所定の記憶手段を設けておき、記ユーザの携帯電話から広告情報の配信要求が出力された場合に、当該ユーザの配信希望ジャンルに合致する識別情報が付加された広告情報を上記広告情報記憶手段から抽出し、当該ユーザの携帯電話に配信することを特徴としている。このように、予めユーザの好みの広告ジャンルを登録しておき、これに合致する広告情報を優先的に配信するように構成することにより、各ユーザが興味を持って広告情報に接するようになることが期待でき、結果として広告効果を高めることができる。

【009】請求項3に記載の携帯電話を用いた広告システムは、各広告情報に配信対象の属性を特定する識別情報を予め付加しておくと共に、各ユーザの属性情報を当該ユーザに関連付けて記録しておく所定の記憶手段を設けておき、上記ユーザの携帯電話から広告情報の配信要求が出力された場合に、当該ユーザの属性に合致する識別情報が付加された広告情報を上記広告情報記憶手段から抽出し、当該ユーザの携帯電話に配信することを特徴としている。このように、予めユーザの属性を登録しておき、これに合致する広告情報を優先的に配信するように構成すれば、自己にとって有益な広告情報を各ユーザが入手できるようになり、結果として広告効果を高めることができる。

【0010】請求項4に記載の携帯電話を用いた広告システムは、上記の各広告情報中に携帯電話の入力手段によって選択可能なマークを少なくとも一つ挿入しておき、上記ユーザの携帯電話から当該マークを選択したことを示す出力があった場合に、当該広告情報に関連付けられた一定のポイントと、当該ユーザに関連付けて上記ポイント情報記憶手段に記録することを特徴としている。このように、広告情報中に所定のマークを埋め込んでおき、これを選択したことをもって広告の閲覧完了と

認定することにより、ユーザの関心を広告内容に向けさせることが可能となる。例えば、このマークを広告情報の末尾に配置しておけば、少なくともユーザは広告情報を末尾までスクロールしてマークを表示させなければならなくなる。また、広告情報の途中に複数のマークをアトランダムに埋め込んでおき、全てのマークを選択しない限りポイントが付与されないものと設定しておけば、マークを選択する過程を通じて広告内容に目を通さざるを得なくなる。あるいは、広告情報の末尾に広告内容に関連した質問(クイズ)と回答の選択肢を用意しておき、正答した場合にのみポイントが付与されるものと設定しておけば、ユーザは自然と広告内容を熟読するようになる。

【0011】請求項5に記載の携帯電話を用いた広告システムは、ユーザの携帯電話から特定のWebサイトにおける決済に上記ポイントを適用する旨の要求がインターネット経由で直接あるいは間接的に出力された場合に、上記ポイント情報記憶手段を参照して当該ユーザのポイント残高を確認する手段と、当該ユーザが十分なポイントを保有している場合に、上記決済に必要なポイントを上記ポイント情報記憶手段内の記録から減算する手段と、同ポイントを上記Webサイトに関連付けて所定の記憶手段に記録する手段とを備えたことを特徴としている。この結果、ユーザは広告情報の閲覧によって蓄積したポイントを有料のWebサイトにおける決済手段として利用することが可能となり、Webサイトに対して貴重な収益源を付与することが可能となる。なお、各Webサイトに対しては、ユーザのポイント獲得に応じて各広告情報提供者から徴収した金額(広告配信料)の中から利用料が支払われることとなる。

【0012】請求項6に記載の携帯電話を用いた広告システムは、ユーザの携帯電話から携帯電話の通話料に上記ポイントを適用する旨の要求がインターネット経由で出力された場合に、上記ポイント情報記憶手段を参照して当該ユーザのポイント残高を確認する手段と、当該ポイント残高を所定のレートに基づいて金額に換算し、当該金額をユーザの携帯電話における単位時間当たりの通話料で割って通話可能時間を算出する手段と、ユーザの携帯電話からこのシステムの電話回線に着信があった場合に、当該携帯電話から事前にインターネット経由で特定された相手先の電話番号に発呼し、相手先の電話機との間で通話路を形成した後、上記ユーザの携帯電話と相手先の電話機との間に本システムを経由した通話路を形成する手段と、ユーザの携帯電話と相手先の電話機との間における通話時間を計測する手段と、上記通話可能時間を経過した時点で上記通話路を切断する手段とを備えたことを特徴としている。この結果、ユーザは広告情報の閲覧によって蓄積したポイントを、携帯電話の通話料(正確には、このシステムと相手先の電話機との間における通話料)として利用することが可能となる。しか

も、ユーザは暇な時に十分なポイントを蓄積させておけば、通話に際して一々広告情報を閲覧する必要もない。なお、上記の通話料に対しては、ユーザのポイント獲得に応じて各広告情報提供者から徴収した金額が充当されることとなる。

【0013】請求項7に記載の携帯電話を用いた広告システムは、電話回線を通じて伝達可能な音声による広告情報を、各広告情報の提供者に関連付けて蓄積しておく音声広告情報記憶手段と、上記ユーザの携帯電話と相手先の電話機との間に通話路が形成された際に、上記音声による広告情報を当該通話路に混入させる手段とを備えたことを特徴としている。この場合、音声広告はこのシステムのユーザのみならず、着信者に対しても流されることとなり、極めて高い広告効果を期待できることとなる。

【0014】

【発明の実施の形態】図1は、この発明に係る携帯電話を用いた広告システム10の全体イメージを示すものであり、このシステム10の運用者が管理するセンターサーバ12と、このシステム10のユーザが所持するパソコン14と、広告情報の提供者が管理する広告サーバ16と、携帯電話用のWebサイトを運営している業者が管理するWebサーバ18とが、インターネット20を介してネットワーク接続されている。また、各ユーザが所持するインターネット接続機能を備えた携帯電話22(例えばNTTドコモ(登録商標)の「iモード」等)が、通信キャリアのパケット交換網24及びゲートウェイサーバ26を介してインターネット20に接続されている。

【0015】上記センターサーバ12は、WWW(World Wide Web)サーバ機能、メールサーバ機能、ネームサーバ機能、アプリケーションサーバ機能、データベースサーバ機能等を備えており、実際には複数のワークステーションやパソコンをネットワーク接続することによって構成されている。

【0016】図2は、このシステム10の主な機能構成を示すブロック図であり、センターサーバ12は、回線接続装置28と、通話処理部29と、ユーザデータ管理部30と、ポイント管理部31と、広告情報配信部32と、広告情報蓄積部33と、決済処理部34と、ユーザデータベース35と、Webサイトデータベース36と、Web広告データベース37と、決済情報データベース38と、音声広告データベース39とを備えている。上記通話処理部29、ユーザデータ管理部30、ポイント管理部31、広告情報配信部32、広告情報蓄積部33、決済処理部34は、センターサーバ12を構成するコンピュータのCPUが、OSや専用プログラムに従って必要な処理を実行することによって実現される。また、上記ユーザデータベース35、Webサイトデータベース36、Web広告データベース37、決済情報データベース38、音声広告データベース39は、同コンピュータのハードディスク内に格納されている。

【0017】このシステムの利用を希望する広告業者（広告代理店等）は、予めこのシステム10の運用者との間で業務委託契約を締結しておき、Web広告データベース37あるいは音声広告データベース39内に自己の広告情報を格納するためのスペースを確保しておく。しかる後、所定のファイル形式に圧縮された広告情報をインターネット20経由で広告サーバ16からセンターサーバ12に送信すると、広告情報蓄積部33が起動し、当該広告業者のIDと関連付けた上で、Web広告データベース37あるいは音声広告データベース39内に格納する。Web広告データベース37内に格納される個々の広告情報には、広告内容に対応した1又は複数のインデックス情報が付加されている。このインデックス情報としては、例えば「自動車」、「旅行」、「外食」、「映画」、「音楽」といった、広告のジャンルを示すコードが該当する。

【0018】Web広告データベース37内に格納される広告情報としては、インターネット20経由でユーザの携帯電話22に送信可能な情報が該当し、例えば携帯電話用のHTML形式で記述された広告文が挙げられる。あるいは、携帯電話22によって再生可能な静止画や動画による広告情報であってもよい。音声広告データベース39内に格納される広告情報としては、電話回線を通じてユーザの携帯電話22及び着信側の電話機40に送信可能な音声データが該当し、具体例としてコマーシャルソングやナレーションによる音声広告が挙げられる。

【0019】ユーザがこの広告システム10のサービスを受けるためには、事前にユーザ登録を行い、ユーザデータベース35内に自己のデータを格納するためのレコードを確保しておく必要がある。具体的には、自己のパソコン14からインターネット20経由でセンターサーバ12のWebサイトにアクセスし、パソコン画面上に表示されるサービスメニューから「新規登録」を選択する。この結果、Webサイトからは新規登録用フォームが送信される（図示省略）。このフォームの入力欄に自己の氏名、希望パスワード、住所、電話番号、メールアドレス、携帯電話番号、性別、年齢、広告情報の配信希望ジャンル等を選択・入力して送信することにより、ユーザデータ管理部30を介してユーザデータベース35内に新規ユーザとして登録される。

【0020】図3は、ユーザデータベース35内に設定されるデータ項目の一例を示すものであり、ユーザIDを筆頭に、パスワード、氏名、住所、電話番号、メールアドレス、携帯電話番号、性別、年齢、配信希望ジャンル、広告閲覧履歴、蓄積ポイント、Webサイト利用履歴、通話履歴、電話帳データ等の項目が設けられている。これらのデータ項目は、必要に応じて増減可能であることはいうまでもない。

【0021】以下、この広告システム10の具体的な利用方法について、図4～図7のフローチャート、及び図8～図11のレイアウト図に基づいて説明する。まず、登

録済のユーザがこの広告システム10のサービスを享受するためには、自己の携帯電話22のインターネット接続機能を用いてセンターサーバ12のWebサイトにアクセスし、本サービスへのログインを求める。これを受けたセンターサーバ12からは（図4のS10）、ユーザID及びパスワードの入力を求めるフォームが送信される（S11）。この結果、図8に示すように、ユーザの携帯電話22のディスプレイ41上にはユーザID及びパスワードを入力するためのWebページが、ブラウザプログラムの機能によって表示される。

【0022】これに対しユーザは、携帯電話22のテンキーを通じて自己のID及びパスワードを入力し、センターサーバ12へと送信する。これを受けたセンターサーバ12では（S12）、ユーザデータ管理部30においてユーザデータベース35内に格納されたパスワードと送信されたパスワードとが一致するか否かが判定される（S13）。

【0023】ユーザデータ管理部30によって当該ユーザの正当性が認証されると、センターサーバ12のWebサイトからは図9の(a)に示すWebページがユーザの携帯電話22に送信され、画面表示される（S14）。このWebページ上には、当該ユーザがこれまでに蓄積しておいたポイントの残高が表示されている。図においては、「2800ギルド」のポイントが利用可能であることが示されている。また、このWebページ上には、このポイントを利用するのか、あるいはさらにポイントを蓄積させるのかを選択するための選択肢が表示されている。

【0024】ここでユーザが携帯電話22のカーソルキー等を操作して「◆ポイントを貯める」を選択して広告情報の配信を求めると、これを受けた広告情報配信部32は（S15）、Web広告データベース37内に格納された各種広告情報の中から当該ユーザの配信希望ジャンルに対応したインデックス情報が付加された広告情報を抽出し、ユーザの携帯電話に送信する（S16）。この結果、図9の(b)及び(c)に示すように、携帯電話22のディスプレイ41上には広告用のWebページが画面表示される。このWebページ上には、広告主の表示や宣伝文句が文字によって記述されている。携帯電話22のディスプレイ41は狭いため、一画面に表示できる宣伝文句の量は限られているが、ユーザは携帯電話22のキー操作を通じて画面のスクロールを行うことにより、比較的長い宣伝文句であっても全てを閲覧することができる。

【0025】この宣伝文句の末尾には、図9(c)に示すように、ポイントを獲得するためのマーク（ここでは「★」）が表示される。そこでユーザは、このマークを選択状態とした上で、テンキーやカーソルキーを操作して「選択」の入力を行う。この携帯電話22によるマークの選択動作をポイント管理部31が検知すると（S17）、予め当該広告情報に関連付けられていたポイント数が、ユーザデータ管理部30を介してユーザデータベース35内の該当項目に加算される（S18）。

【0026】ユーザが上記のようにしてポイントを獲得すると、携帯電話22のディスプレイ41上には図9(a)のオープニング画面が再表示されることとなるが、その際にはユーザデータ管理部30によってポイント数が加算表示される(S19)。例えば、「あなたのポイントは2810ギルドです」と表示される。また、ユーザが獲得したポイントに関しては、決済処理部34によって当該広告情報提供者のIDに関連付けられた上で、決済情報データベース38内に記録される(S20)。後日、決済データベース38内に記録された累積ポイント数に対応した金額の請求書が、広告配信手数料として広告情報提供者に発行されることとなる。

【0027】以上のように、各ユーザは暇なときにセンターサーバ12から広告情報の配信を受けてこれを閲覧し、ポイントを蓄積させておくことができる。また、ユーザがポイントを獲得するためには、スクロール動作を行って広告情報の末尾に表示されるマークを携帯電話22のディスプレイ41上に表示させ、キー入力によってこれを確実に選択する必要があるため、広告内容がユーザの目に入る確率がそれだけ高くなり、高い広告効果を期待できる。

【0028】マークの挿入位置は広告文の末尾に限られるものではなく、広告文の途中にさり気なく表示させることもできる。また、複数のマークをアトランダムに挿入しておき、その全てを選択することによって初めてポイントが付与されるように運用することもできる。さらには、マークの代わりに、広告内容に関連した簡単な設問を回答の選択肢と共に表示させ、ユーザの携帯電話22から正答を選択したことを示す出力があった場合に限り、ポイント管理部31によって一定のポイントが付与されるように運用してもよい。

【0029】上記においては、各ユーザが予め申告しておいた配信希望ジャンルに該当する広告情報を広告情報配信部32が抽出・配信する例を示したが、この発明はこれに限定されるものではない。例えば、ジャンルを問わず新しいものから順に、全ユーザに機械的に配信することもできる。あるいは、広告業者の側で配信対象の属性を特定するインデックス情報を広告情報に付加しておき(例えば「20代の女性」、「40代の男性」、「小学生」等)、ユーザの携帯電話22から広告情報の配信要求が出力された際に、当該ユーザの属性に合致する広告情報を優先的に配信するように運用してもよい。

【0030】この蓄積されたポイントを利用する際には、図9(a)の画面上で「ポイントを使う」を選択すればよい。このポイント利用の要求を受信したセンターサーバ12のWebサイトからは(図5のS21)、図10の(a)に示すように、ポイントの使い道として「◆有料サイトで使う」のか「◆無料電話を掛ける」のかを尋ねるWebページが送信され、画面表示される(S22)。

【0031】ここでユーザが「◆有料サイトで使う」を

選択すると(S23)、図10の(b)に示すように、様々なWebサイトによって提供される有料サービスのリストページが送信され、画面表示される(S24)。すなわち、Webサイトデータベース36内には、このシステム10に加入している各Webサイトの有料サービスに関する情報(サービス名、必要ポイント数、URL等)が予め登録されており、携帯電話22からの表示要求を受信すると、ポイント管理部31が必要なWebサイト情報を抽出してユーザの携帯電話22に送信する。

【0032】ユーザが「ビジネス情報」を選択すると、これを受けたセンターサーバ12のWebサイトからは(S25)、図10の(c)に示すように、必要ポイント数を示した確認ページが送信され、画面表示される(S26)。ここでユーザが内容を確認して「はい」を選択すると(S27)、当該ビジネス情報を提供しているWebサーバ18に自動的に接続される(S28)。そして、サービス提供用のWebページが当該Webサイトからインターネット20経由でユーザの携帯電話22に送信され、画面表示される(図示省略)。

【0033】ユーザの携帯電話22がこのWebサイトに接続した時点で、ユーザデータ管理部30によって当該ユーザのポイント残高から10ポイント(ギルド)が減算される(S29)。同時に、決済処理部34によって10ポイントが当該WebサイトのIDに関連付けられた上で、決済情報データベース38内に支払い情報として登録される(S30)。後日、システム10の運用者から当該Webサイトの管理者に対して、総獲得ポイントに対応した金額分がサービス利用料として送金されることとなる。

【0034】なお、このシステム10に加入しているWebサイトの数が増加した場合には、上記Webサイト選択画面において、ユーザにまずサービスのジャンルを選択させた後、当該ジャンルに含まれる個々のサービス名を表示させ、その中から具体的なWebサイトやサービス名を選択させるように運用することもできる。

【0035】また、ユーザがポイントを利用する際には、必ずしも上記のようにセンターサーバ12のWebサイト経由で個々の有料Webサイトにアクセスする必要はない。すなわち、携帯電話22からこのシステム10に加入しているWebサイトのURLを入力してして直にアクセスし、決済の段に至って初めて本システム10に基づくポイントの適用を主張することもできる。

【0036】この場合、当該WebサイトからユーザのID及びパスワードの入力が求められ、これに対してユーザがID及びパスワードを入力すると、Webサイトのサーバ18はこれをセンターサーバ12に転送して決済の可否を照会する。これを受けたセンターサーバ12では、ユーザデータ管理部30によって当該ユーザの正当性及びポイント残高が確認され、決済の可否が判定される。センターサーバ12から決済完了の通知が送信された場合には、Webサーバ18において当該ユーザの携帯電話22に対するサー

ビスの提供が実行される。同時に、センターサーバ12においては、ユーザデータ管理部30によって当該ユーザのポイント残高に対する減算処理が実行される。また、決済処理部34によって所定のポイントが当該WebサイトのIDに関連付けられた上で、決済情報データベース38内に支払い情報として登録される。

【0037】ポイントの使い道として、図10(a)においてユーザが「無料電話を掛ける」を選択した場合(図6のS33)、センターサーバ12からは、図11の(a)に示す電話サービス提供ページがユーザの携帯電話22に送信される。この際、センターサーバ12において当該ユーザの通話可能時間が算出され(S34)、上記ページ中に表示される。この通話可能時間は、ユーザデータ管理部30によって当該ユーザのポイント残高が読み出され、これを通話処理部29が一定のレートで通話料に換算することで導き出される(S34)。すなわち、10ギルド=10円という換算率の場合、2800ギルドを保有しているユーザは2,800円分の通話を行うことが可能となるが、この金額を当該携帯電話22の通信キャリアが設定している単位時間当たりの最高通話料で割り算することにより、通話可能時間が算出される。例えば、1分間100円が当該携帯電話22の最高通話料単価であるとした場合、ユーザは28分間の通話が可能となる。

【0038】つぎに、図11(a)の画面においてユーザが「◆電話帳を利用する」を選択すると(S35)、ユーザデータ管理部30によって図11の(b)に示す電話帳データのリストページが送信され(S36)、携帯電話22のディスプレイ41上に表示される。この電話帳機能を利用するためには、各ユーザは事前に自己のパソコン14からインターネット20経由でセンターサーバ12にアクセスし、ユーザデータ管理部30を通じてユーザデータベース35内に電話帳データ(相手先の表示及び電話番号の組合せ)を登録しておく必要がある。

【0039】ユーザがこのリストの中から一つの相手先を選択すると、これを受けたセンターサーバ12からは(S37)、図11の(c)に示す確認のページが送信される。ここで内容を確認して「はい」を選択すると、携帯電話22に搭載された自動ダイヤル機能(Phone To機能)により、上記「はい」ボタンに関連付けられていたセンターサーバ12の電話番号に対して自動的に発呼され、電話回線網42aを介してセンターサーバ12とユーザの携帯電話22との間で通話路が形成される(S38)。この後、通話処理部29によってユーザが選択した相手先の電話番号に対応したダイヤル信号が生成され、回線接続装置28を介して相手先の電話機40に対する発呼が実行される。そして、電話回線網42bを介してセンターサーバ12と相手先の電話機40との間で通話路が確立した時点で(S39)、回線接続装置28によってユーザの携帯電話22と相手先の電話機40との間で回線の接続が行われる(S40)。これ以降、ユーザは自己の携帯電話22を通じて、相手方と通

話を楽しむことができる。

【0040】なお、ユーザが図11(a)の画面において「◆ダイヤルする」を選択した場合には(S35)、図示は省略したが、相手先の電話番号の入力を促すメッセージがディスプレイ41上に表示される。これに従ってユーザが携帯電話22のテンキーから電話番号を入力して「接続」を選択すると、上記と同様、センターサーバ12の電話番号に対して自動的に発呼され、センターサーバ12とユーザの携帯電話22との間で通話路が形成される。この後、通話処理部29によってユーザが入力した相手方の電話番号に対応したダイヤル信号が生成され、回線接続装置28を通じて相手方の電話機40に対する発呼が実行される。そして、センターサーバ12と相手方の電話機40との間で通話路が確立した時点で、回線接続装置28によってユーザの携帯電話22と相手方の電話機40との間で回線の接続が実行される。

【0041】ユーザの通話中、通話処理部29は通話時間を計測し(図7のS42)、通話可能時間を経過しないように監視している。そして、通話可能時間の残りが少なくなってきた場合には、通話処理部29によって「あと約1分で通話が切断されます」といった警告の音声メッセージが生成され、回線接続装置28を介してユーザ及び着信者間の通話に混入される。ここで通常は自発的に通話が終了される筈であるが、そのまま通話が継続して通話可能時間が経過した場合には(S44)、通話処理部29の指令に基づき回線接続装置28が強制的に通話路を切断する(S45)。あるいは、通話可能時間が経過した時点で、回線接続装置28によってユーザの携帯電話22と着信側の電話機40との間を直接接続させ、以後の通話料はユーザが負担するように運用することもできる。何れにしても、ユーザが通話可能時間を経過した後は、ユーザデータ管理部30によって当該ユーザのポイント残高はゼロに更新される。なお、通話可能時間が経過する前に通話が終了した場合には(S43)、通話時間に対応した通話料が算出され(S46)、この通話料に対応するポイント分がユーザデータ管理部30によって減算処理される(S47)。

【0042】上記の通話に際して、音声広告を混入させることもできる。すなわち、ユーザの携帯電話22と相手先の電話機40との間で通話路が形成された後に、通話処理部29によって音声広告データベース39内に蓄積された音声による広告情報(特定の商品や企業のテーマソング等)が順次抽出され、回線接続装置28によって会話を妨げない程度の音量で背景音としてミキシングされる(S41)。この結果、ユーザのみならず着信者に対しても音声広告を聞かせることが可能となり、高い広告効果を期待できる。

【0043】この音声広告は、ポイントの適用による無料電話サービスを受ける際には常に流すように運用することもできるが、その採否をユーザの選択に委ねること

もできる。すなわち、音声広告を流す場合とそうでない場合とで、ポイントと通話料との換算レートに差を設けておき、通話の相手によってユーザの側で自由に選択できる仕組みにしておくことが該当する。

【0044】例えば、通常であれば1分間100円の最高通話料が適用される。音声広告を流す場合には1分間50円の通話料が適用され、差額の50円については広告情報提供者が負担するように設定しておけば、できるだけ長く通話したいユーザは音声広告を流し、落ち着いた雰囲気での通話を好むユーザは音声広告を排除するといった選択が可能となる。なお、広告情報提供者の負担分については、決済処理部34によって当該広告情報提供者のIDに関連付けた上で課金情報が決済情報データベース38内に記録され、当該広告情報提供者宛の請求書が後日発行されることとなる。

【0045】この無料電話サービスを利用することにより、ユーザはセンターサーバ12までの通話料を負担するだけで済み、センターサーバ12から着信者の電話機40までの通話料については蓄積ポイントの適用によって無料となるため、遠隔地に電話を掛ける場合に特に有利となる。センターサーバ12から着信者の電話機40までの通話料については、各通信キャリアからセンターサーバ12の運用者宛に後日請求書が届き、この支払いには各広告情報提供者から徴収した広告配信料が充てられる。なお、センターサーバ12と専用回線で接続されたアクセスポイントを各地に多数設置することにより、ユーザの通話料負担分を最小限に軽減することが望ましい。

【0046】

【発明の効果】請求項1に記載の携帯電話を用いた広告システムによれば、携帯電話を通じて広告情報を閲覧することで金銭的価値を備えたポイントを獲得することができるため、各ユーザが積極的に広告情報の配信を要求するようになることが期待できる。

【0047】請求項2に記載の携帯電話を用いた広告システムにあつては、予めユーザの好みの広告ジャンルを登録しておき、これに合致する広告情報を優先的に配信するように構成されているため、各ユーザが興味を持って広告情報に接するようになることが期待でき、結果として広告効果を高めることができる。

【0048】請求項3に記載の携帯電話を用いた広告システムにあつては、予めユーザの属性を登録しておき、これに合致する広告情報を優先的に配信するように構成されているため、自己にとって有益な広告情報を各ユーザが入手できるようになり、結果として広告効果を高めることができる。

【0049】請求項4に記載の携帯電話を用いた広告システムにあつては、広告情報中に所定のマークを埋め込んでおき、これを選択したことをもって広告の閲覧完了と認定され、応分のポイントが付与されるため、ユーザの関心を広告内容に向けることが可能となる。

【0050】請求項5に記載の携帯電話を用いた広告システムにあつては、広告情報の閲覧によって蓄積したポイントをユーザは有料のWebサイトにおける決済手段として利用することが可能となり、Webサイトに対して貴重な収益源を付与することが可能となる。

【0051】請求項6に記載の携帯電話を用いた広告システムにあつては、広告情報の閲覧によって蓄積したポイントを、ユーザは携帯電話の通話料（このシステムと相手先の電話機との間における通話料）として利用することが可能となる。

【0052】請求項7に記載の携帯電話を用いた広告システムによれば、このシステムのユーザのみならず、着信者に対しても音声広告を流すことが可能となり、極めて高い広告効果を挙げることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明に係る携帯電話を用いた広告システムの全体イメージを示す説明図である。

【図2】このシステムの機能構成を示すブロック図である。

【図3】ユーザデータベース内に設定されるデータ項目例を示す説明図である。

【図4】ポイント蓄積過程における処理手順を示すフローチャートである。

【図5】蓄積したポイントを有料Webサイトにおける決済に利用する際の処理手順を示すフローチャートである。

【図6】蓄積したポイントを携帯電話の通話料に利用する際の処理手順を示すフローチャートである。

【図7】蓄積したポイントを携帯電話の通話料に利用する際の処理手順を示すフローチャートである。

【図8】携帯電話のディスプレイに表示されたWebページを示すレイアウト図である。

【図9】携帯電話のディスプレイに表示されたWebページを示すレイアウト図である。

【図10】携帯電話のディスプレイに表示されたWebページを示すレイアウト図である。

【図11】携帯電話のディスプレイに表示されたWebページを示すレイアウト図である。

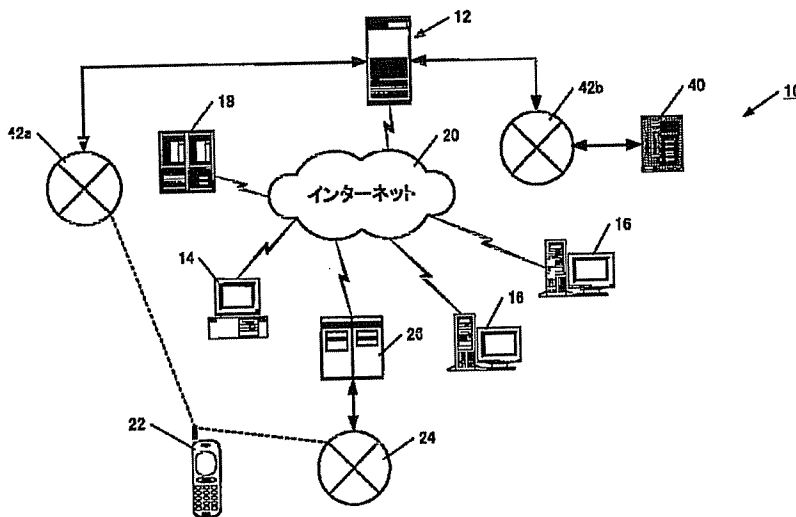
【符号の説明】

- 10 携帯電話を用いた広告システム
- 12 センターサーバ
- 14 パソコン
- 16 広告サーバ
- 18 Webサーバ
- 20 インターネット
- 22 携帯電話
- 24 パケット交換網
- 26 ゲートウェイサーバ
- 28 回線接続装置
- 29 通話処理部

- 30 ユーザーデータ管理部
- 31 ポイント管理部
- 32 広告情報配信部
- 33 広告情報蓄積部
- 34 決済処理部
- 35 ユーザーデータベース
- 36 Webサイトデータベース

- 37 Web広告データベース
- 38 決済情報データベース
- 39 音声広告データベース
- 40 着信側の電話機
- 41 携帯電話22のディスプレイ
- 42a 電話回線網
- 42b 電話回線網

【図1】



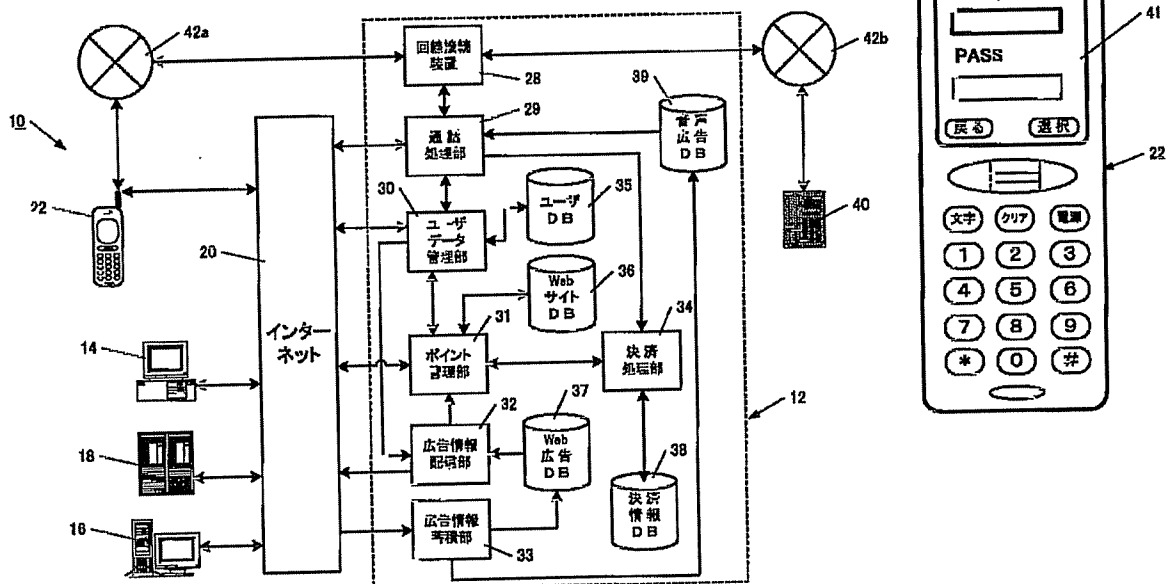
【図3】

【ユーザDB】

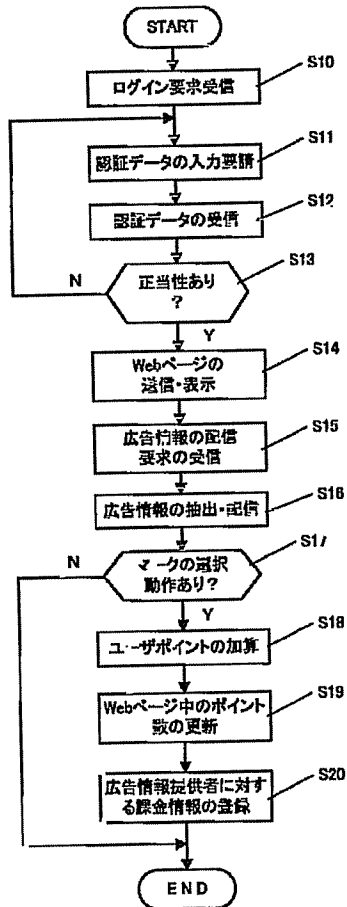
ユーザID
パスワード
氏名
住所
電話番号
メールアドレス
携帯電話番号
性別
年齢
配信希望ジャンル
広告閲覧履歴
蓄積ポイント
Webサイト利用履歴
通話履歴
電話機データ

【図8】

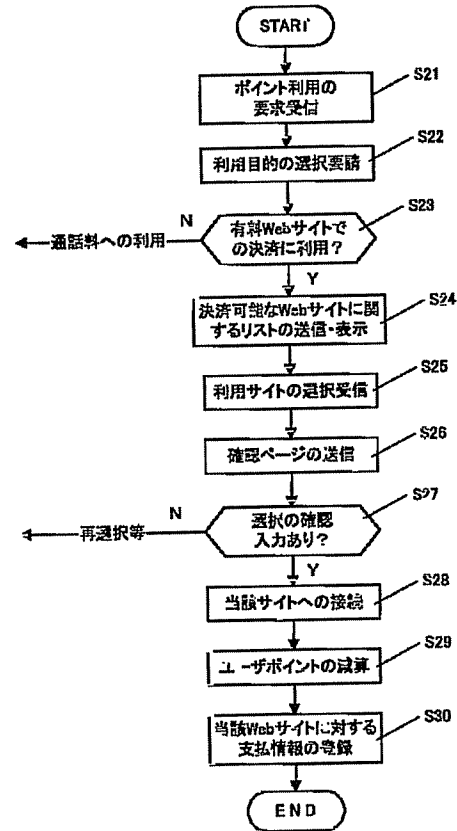
【図2】



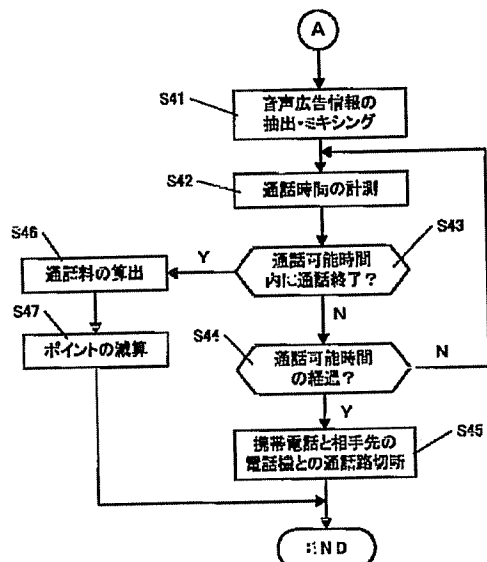
【図4】



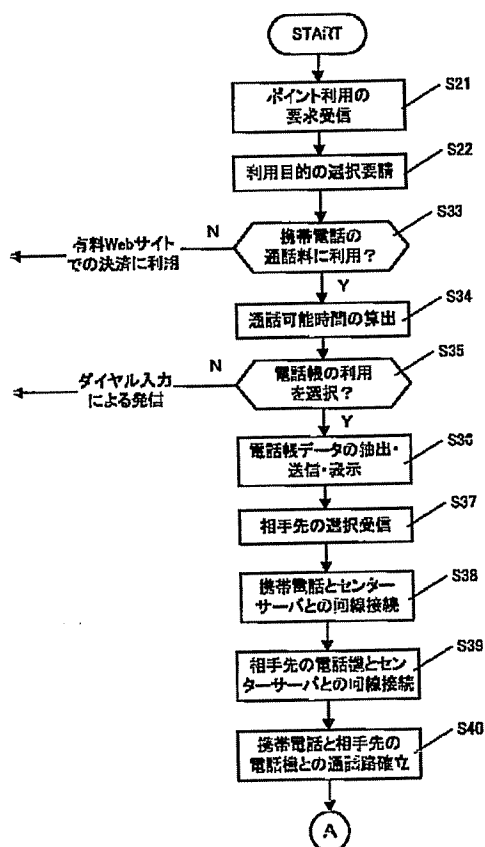
【図5】



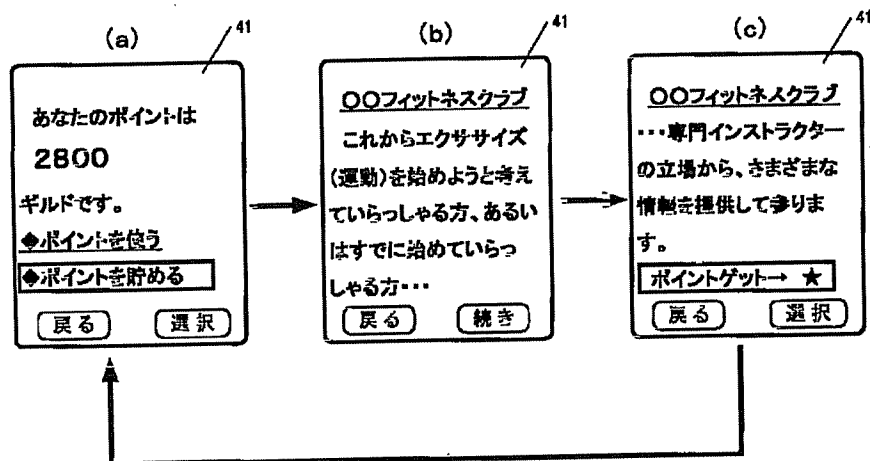
【図7】



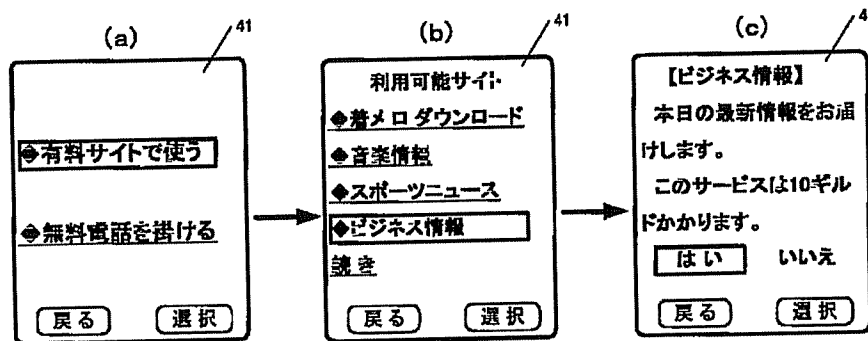
【図6】



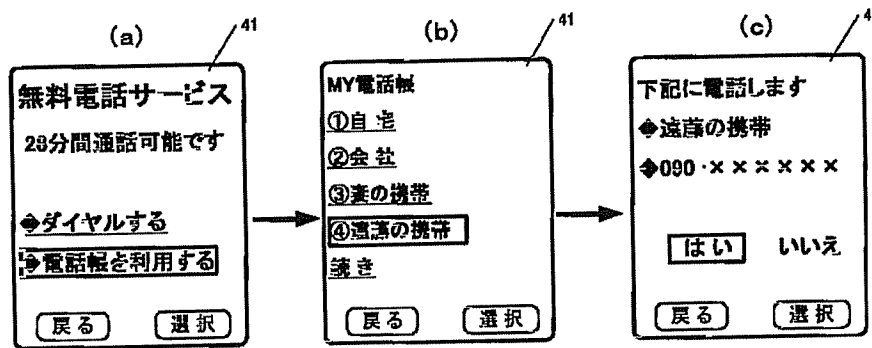
【図9】



【図10】



【図11】



フロントページの続き

(51)Int.Cl.⁷

識別記号

F I

(参考)

G 0 6 F 13/00
17/305 4 0
1 1 0
3 4 0G 0 6 F 13/00
17/305 4 0 P
1 1 0 G
3 4 0 AG 0 7 G 1/12
H 0 4 M 3/423/487
3/493
15/00

3 2 1

G 0 7 G 1/12
H 0 4 M 3/42
3/487
3/493
15/003 2 1 L
R
Z

Fターム(参考) 3E042 CC01 CD04 EA01

5B075 KK07 KK13 KK33 ND20 ND23

ND36 PP03 PP13 PP30 PQ02

PQ04 PQ46 UU40

5K015 AB01

5K024 AA71 AA76 AA77 CC11 FF03

FF04

5K025 BB10 DD06